

避難訓練を通じた NPO法人と地域の連携

経緯

「急な坂で生活に困難を抱えている人がいる」という仮説を立て、センターで受けた相談内容の分析や坂道の調査を行った。

坂道のある地域での困りごとや工夫に関するアンケートの内容を検討。

アンケート試行版
実施

要援護者がどのように困るかイメージすることが難しい状況が浮き彫りになる。アンケートを要援護者（介護保険認定ある人、障害事業所、子育て中の方）にも広げてアンケート調査実施する。

メンバーによる
坂道体験会

高齢者体験グッズ、車椅子、杖、妊婦体験、ベビーカー使用し坂道昇降

地域で坂道体験会の報告を行い体験会実施。

概要

2021年度のまちなかゾーン会議の取り組みの1つ。
「障害者の視点を知ろう」というテーマを掲げ、障害やこどもの分野で活動している「NPO法人こぐまくらぶ」に協力を仰ぎ、知的障害者の視点について講義をしていただいた。

そのなかで、こぐまくらぶより
「月に1回、朝霧の事業所で生活介護事業の利用者を対象に避難訓練を行って
いる。できれば地域住民の方々と一緒に避難訓練をしたい。」という声があ
がったため、まちなかゾーン会議のメンバーから参加者を募った。

結果、ゾーンメンバー1名、地域住民の計4名、あさぎり・おおくら総合支援
センター職員2名が参加。地域住民と協働で避難訓練を実施した。

講義内容①

コロナ禍で困ったこと



マスクの出来ない利用者さんが買い物などお店の中に入れない。



手洗い、うがいの習慣を定着するまでに時間がかかった。

工夫していること

- ・マスクが出来ない利用者さんの飛沫感染予防にパーテーションを設置
- ・朝・昼・夕と消毒を徹底



昼食時やトイレ介助は防護服を着用



何をするかを理解しやすいようにカードを利用

講義内容②

災害時の備え



机の下に避難！



毎月1回
避難訓練を
実施！

色々な災害用品があるなあ



こぐまくらぶさんより「地域住民の方々と一緒に、避難訓練をしたい」という声があがり…

避難訓練を実施！

避難ルート：事務所～朝霧公園



参加者からの感想

- 地域と一緒に、何度も訓練を実施したほうが良いと感じた**
- いろいろなルートを想定した訓練が必要！**
- より多くの住民と実施することが重要！**

他団体への活動報告

避難訓練の様子を動画にし、まちづくり協議会などで報告。

動画のデータをこぐまクラブとも共有。
「地域との連携の重要性を法人内でも共有できた」という報告を受けた。

今後の展開していきたい方向性

障がい事業所との協働の継続

ご助言いただきたいこと

障がい事業所と円滑に協働できる方法を模索中。

当事者の不安やスタッフ
の負担感にならないか危
惧している